



特別
企画展

宮様、山へ



大正期登山ブームのなかの皇族登山……
公開 一〇二七年 十月二十一日(土)→十二月二十六日(日)



立山の空にそびゆるを、しきにならへとぞ思ふ御代のすがたも

東京御歌館(皇居)を撮影



山の宮さま御元気で

雄山の頂上を極めらる

晴れ渡る七十二峰御展望



北陸タイムス(大正十三年五月十七日付)



有頼卿の傳説に

興じ給ふ殿下

富士山に向かつて萬歳三唱
雄山の鷹が御歓迎飛行



立山雄山頂上の秩父宮殿下

高原の第一夜は

大風雪に明く

観音頂上の朝倉宮殿下一行

富山県「立山博物館」



【開館時間】午前九時三〇分～午後五時まで(入館は午後四時三〇分まで)

【観覧料】一般二〇〇円(大学生二六〇円) 高校以下(児童・生徒・障がい者等の観覧料は無料です。高校教育・社会教育に利用する児童・生徒の団体等の観覧料は申請により無料となります)



宮様、山へ

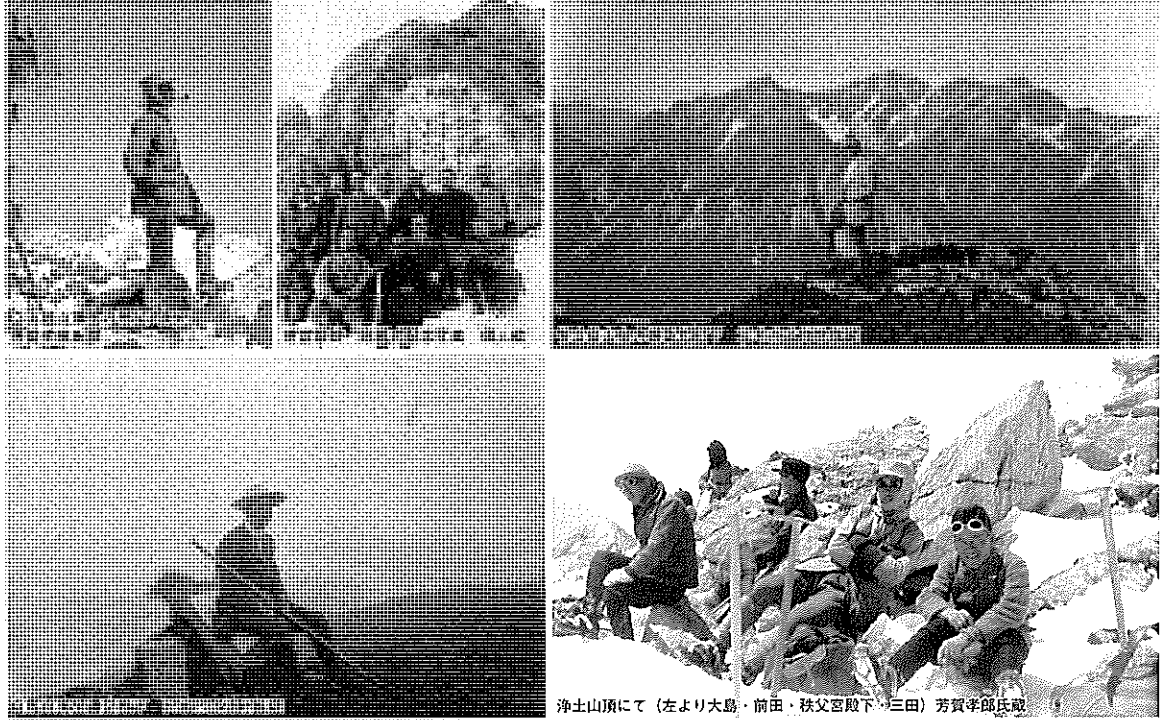
大正期登山ブームのなかの皇族登山

富山県 [立山博物館] 平成29年度後期特別企画展

近代の立山における登山形態は、信仰登山、外国人登山、奉幣使登山、成人儀礼としての登山、学校登山など実に多種多様でした。わけても大正後期から昭和初期にかけては、登山そのものを目的として立山に登る登山愛好者たちが急速に増加していきます。立山においては、この時期をもって登山大衆化時代が到来したと考えられています。このような状況を背景に、立山は全国の登山家の憧れの山のひとつとなっていきました。こうしたなか「山に登る宮様」の登場は、立山の登山環境の改善、知名度の上昇に少なからぬ影響を与えたと考えられます。

立山における最初の皇族登山は、大正8(1919)年の東久邇宮稔彦王によるものでした。大正10(1921)年には朝香宮鳩彦王が立山と剣岳に登頂、さらに大正13(1924)年、秩父宮雅仁親王が、皇族として初めて積雪期の立山に登山し、スキーを楽しみました。大正15(1926)年には、竹田宮恒徳王と北白川宮永久王も、剣岳と立山に登頂しています。

このような宮様の登山が、立山の登山環境にどう影響したのか、また大正期から昭和初期における立山の登山ブームともいえる登山者の急増にどうかかわったのか、当時の新聞資料を中心に展示し、紹介します。



浄土山頂にて(左より大島・前田・秩父宮殿下・三田)芳賀孝郎氏蔵

主な展示資料

- ・日光坊本『立山和光大権現縁起』 個人蔵
- ・『布橋灌頂法会職衆請定』 芦峯寺一山会蔵
- ・『立山曼荼羅吉祥坊本』 立山博物館蔵
- ・『一山社年中儀事録 大正四年一月元日 昭和五年迄』 芦峯寺一山会蔵
- ・『立山写生画巻』 作:石崎光瑠/明治41年 富山県美術館蔵
- ・明治、大正、昭和初期の富山日報、富山新報、北陸タイムス、高岡新報などの新聞記事パネル 約100点
- ・登山案内書(吉澤庄作『立山』など)
- ・東久邇宮稔彦王、朝香宮鳩彦王、秩父宮雅仁親王、竹田宮恒徳王、北白

- 川宮永久王の登山写真 市立大町山岳博物館・松本市立博物館・日本山岳会・秩父宮記念スポーツ博物館及び個人蔵
- ・大正13年5月秩父宮殿下立山スキー登山写真 芳賀孝郎氏蔵
- ・秩父宮殿下愛用の登山用具 秩父宮記念スポーツ博物館蔵
- ・『秩父宮殿下登山像』(朝倉文夫:作/1928年) 秩父宮記念スポーツ博物館蔵
- ・『秩父宮殿下立山御登山』作品上映 国立近代美術館フィルムセンター蔵
- ・『泉蔵坊画帳(ウェストンの詩文)』 個人蔵
- ・『泉蔵坊泊帳(大正3年ウェストンの名)』 個人蔵 など

ギャラリートーク

登山史研究家の布川欣一氏をお迎えしてギャラリートークを開催いたします。

開催日時: 10月28日(土) 午後2時より

場 所: 富山県 [立山博物館] 展示館1階 企画展示室

企画展示解説会

展示担当者による解説会を開催いたします。

開催日: 10月21日(土)・11月18日(土)

午後2時~午後3時

場 所: 富山県 [立山博物館] 展示館1階 企画展示室

◆休館日 10月23日(月)、10月30日(月)、11月6日(月)、11月13日(月)、11月20日(月)、11月24日(金)

富山県 [立山博物館]

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1

電話076-481-1216 FAX076-481-1144

http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/3043.htm

主 催: 富山県 [立山博物館]

後 援: 北日本新聞社、富山放送局、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ、滑川中新川地区広域情報事務組合(Net3)

協 力: 公益社団法人日本山岳会



カラー面写真

立山雄山頂上の秩父宮殿下(芳賀孝郎氏蔵)、剣岳頂上の朝香宮殿下(松本市立博物館蔵)、『北陸タイムス』大正十三年五月十二日付記事(富山県立図書館蔵)

[最寄り駅]

富山地方鉄道立山線
「千垣駅」下車 徒歩(約2km)
※日曜日を除き、町営バス運行

[自家用車]

JR富山駅から約45分
富山地方鉄道「立山駅」から約10分
北陸自動車道「富山IC」から約35分
「立山IC」から約30分

